

もりおか女性センター

平成 29 年度 事業テーマ
「学ぶ そして 深く考える
～認めあう社会へ～」

フェスティバル2017

映画祭

2017.10.20 (金) ~ 21 (土)

会場：プラザおでって 3F おでってホール
(盛岡市中ノ橋通1-1-10)

上映作品

- 『92歳のパリジェンヌ』
 - 『米軍基地の町に生きる』
 - 『何を怖れる
ーフェミニズムを生きた女たち』
 - 『おじいちゃんの里帰り』
 - 『マララー教育を求めて闘う少女』
- ※上映スケジュールは裏面をご覧ください

トーク

前「もりおか映画祭」実行委員長
特定非営利活動法人日本映画映像文化
振興センター会員 山田裕幸さん



©2015 FIDELITE FILMS - WILD BUNCH -
FRANCE 2 CINEMA - FANTASIE FILMS

前売券 1,000 円

当日券 1,200 円

チケット販売

一日共通券のみ 定員 120 名
9月20日(水)から
観光文化情報プラザ(プラザおでって2F)

※映画祭は託児付き(有料)です。詳しくは、もりおか女性センターにお問い合わせください。

このほか
フェスティバルで

利用団体活動紹介やセンター内クイズラリーを実施
映画祭開催中、休憩所(3F大会議室)でラジオ mjc の番組を放映

<お問い合わせ> もりおか女性センター

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5F
電話：019-604-3303
URL：<http://mjc.sankaku-npo.jp>



主催：盛岡市、もりおか女性センター
共催：もりおか女性の会
後援：岩手県、盛岡市教育委員会、朝日新聞盛岡総局、
読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、河北新報社、岩
手日報社、盛岡タイムス社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手
放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、ラヂ
オもりおか、マ・シェリ、情報紙ゆうゆう、盛岡市着町商店
街振興組合、公益財団法人盛岡国際交流協会

もりおか女性センターフェスティバル 2017・映画祭

上映スケジュール

10/20 (金) 開場：13時

★オープニングセレモニー

13:30



『92歳のパリジェンヌ』 フランス・2015年・106分

ジョスバン元フランス首相の母の人生を、娘で、作家のノエル・シャトレが綴った小説「最期の教え」を原案に、自分の美学を貫き、人生を終える決意をした1人の女性とその家族の姿を描く。92歳の誕生日、マドレーヌは「2カ月後の10月17日に私は逝きます」と宣言。祝いに集まった家族たちは耳を疑った。

★ゲストトーク 前「もりおか映画祭」実行委員長 山田裕幸さん

©2015 FIDELITE FILMS - WILD BUNCH - FRANCE 2 CINEMA - FANTASIE FILMS



『米軍基地の町に生きる』 アメリカ・2011年・65分 16:20

米軍基地と隣り合わせに住む7人の女性たちの物語。映画の舞台は、サンアントニオ（テキサス州）、ピエクス（ブエルトリコ）、ハワイ、グアム、沖縄、韓国、フィリピン。それぞれの地域で米軍基地が生み出したのは、環境汚染、売買春、暴力、地域と文化への冒とくだった。彼女たちの闘い、喪失、勇気を通じて、この状況を変えていこうとするコミュニティの物語が描かれる。



『何を怖れる - フェミニズムを生き抜いた女たち』 18:30

日本・2014年・111分

70年代初頭ウーマンリブが始まった頃、彼女たちは己れの生きにくさにもがき、社会に向かい「NO」と叫んでいた。あれから約半世紀の間、女たちは自己と社会を肯定すべく、つよい意思をもって生きてきた。老年期を迎えた今もなお、みずみずしくフェミニズムを生きている。「折り梅」「レオニー」の松井久子監督が、フェミニストたちの証言でつづる、ドキュメンタリー映画。

10/21 (土) 開場：9時30分

『92歳のパリジェンヌ』 フランス・2015年・106分 10:00

★ゲストトーク 前「もりおか映画祭」実行委員長 山田裕幸さん



©2015 FIDELITE FILMS - WILD BUNCH - FRANCE 2 CINEMA - FANTASIE FILMS



『おじいちゃんの里帰り』 ドイツ・2011年・101分 13:30

トルコ系ドイツ人の女性監督ヤセミン・サムデレリが、自身の実体験をもとにトルコからドイツへ移住した一家を温かなまなざしとユーモアを交えて描いたドラマ。1960年代にトルコからドイツに移り住んだイルマズ家の主フセインは、今や孫もいる大家族のおじいちゃんになった。そんなある日、フセインがトルコに戻ると言い始め、家族全員でトルコへ行くことに。



『マララ - 教育を求めて闘う少女』 15:25

イギリス・2014年・30分

2012年10月、パキスタンの少女マララ・ユスフザイはタリバンに銃撃された。イスラム社会における女子教育の必要性を訴えて活動していた彼女は、タリバンの標的となっていたのだ。マララは危険な目に遭いながらもなぜ世界に訴え続けるのだろうか？教育を受ける権利とは？マララ自らの言葉で語るインタビューや、今までの活動の映像から、彼女の信念と素顔を見る。

※ 託児付き（事前予約制・有料）です。詳しくは、もりおか女性センター（☎604-3303）にお問い合わせください。

※ 期間中プラザおでって3F大会議室が休憩所になります。お飲み物をご用意しておりますので、お気軽にご利用ください。

チケット販売：9/20 (水) から 観光情報プラザ（プラザおでって2F） 前売券 1,000円 / 当日券 1,200円

お問い合わせ：もりおか女性センター（盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5F）☎019-604-3303

URL <http://mjc.sankaku-npo.jp>